

令和5年度以降の県立高等学校適正化等に関する検討状況について

令和4年5月13日
高校の特色づくり推進課

現在、県立高等学校の適正化について、下記のとおり検討を行っています。本年7月には、具体的な対応策を定め、奈良県高等学校等管理運営規則の改正等の所要の措置を実施する予定です。

(1) 県立高等学校定時制・通信制課程の適正化

【現状】

県立高等学校定時制・通信制課程において、募集人員と入学人数の乖離が見られるため、規模等の検討が必要となっている。あわせて、生徒のニーズに応じた教育の在り方についての検討も必要である。

【検討事項】

(定時制課程関係)

- ・大和中央高等学校Ⅲ部（主に夜間の課程）の募集停止
夜間課程の普通科の入学人数の現状を踏まえ、県全体として募集人員の適正化について検討。
- ・奈良商工高等学校機械科・ビジネス科の募集人員減
定時制課程における学科の多様性を維持しつつ、適正な規模について検討。

(通信制課程関係)

- ・全日制課程と通信制課程の併修（「全通併修」）の実施
現在、山辺高等学校において、「高等学校におけるICT授業研究推進事業」指定校として、多様なメディアの利用の他、「全通併修制度活用」に関する研究を実施。
この研究を踏まえ、全通併修の実施及び通信制課程設置校について検討。
- ・不登校生徒等のニーズに対応した通信制教育の実施
面接指導（「スクーリング」）の回数や添削におけるICT活用など、不登校生徒等のニーズにより対応した実施方法を検討。

(2) 南部・東部高校の規模適正化及び教育内容の充実

【現状】

県南部・東部に設置している高等学校で、定員未充足が続いている。今後の中学校卒業生の減少を踏まえ、教育内容の充実による学校魅力化に取り組みつつ、順次、規模の適正化の検討が必要である。

【検討事項】

- ・十津川高等学校の規模の適正化

十津川高等学校の学級規模の縮減を検討。

あわせて、小規模校においても多様な学びを実現するために複数系列を有する総合学科への改編も検討。

(3) 県立高等学校専攻科の充実

【現状】

現在、宇陀・奈良南2校に設置している高等学校専攻科について、定員未充足の状況となっている。専攻科をより体系的に整備し、学と職の接続を図るための検討が必要である。

【検討事項】

- (宇陀高等学校専攻科関係)

- ・横断的に福祉を学べる学科の設置

学科を改編し、現在の介護福祉科の募集枠を拡大。介護福祉・障害者福祉・児童福祉を横断的に学ぶ（仮称）ラビホイタヤ科を設置することを検討。

外国人生徒の入学を想定した介護福祉士養成に関する学科は引き続き設置。

- (奈良南高等学校専攻科関係)

- ・2級建築士取得の最短ルートを確立

2級建築士受験資格をもつ者が、受験に向けた知識・技術を身に付けるとともに、独自の研究に取り組める学科（（仮称）建築士養成科＝1年課程）の設置を検討。

十津川高校、定時制及び通信制の入学者数一覧(H30～R4)

【全日制課程】

学校名	学科名(コース名)	募集人員	入学者数				
			H30	H31	R2	R3	R4
十津川	普通(木工芸・美術)	30	28	35	30	27	15
	普通(ふるさと共生)	40					

※H30は普通(中高一貫)、普通、普通(工芸)で募集

【定時制課程】

学校名	学科名	募集人員	入学者数				
			H30	H31	R2	R3	R4
奈良商工	機械	37	10	13	6	6	4
	ビジネス	40	6	10	5	6	12
畝傍	普通	40	13	16	14	6	8
五條	普通	40	4	2			
賀名生分校 (R3から西吉野農業)	農業	30	26	21	22	17	19
山添分校	農業・家政	30	13	8	10	16	6

学校名	部・学科名	募集人員	入学者数				
			H30	H31	R2	R3	R4
大和中央	I部・普通	75	74	75	75	67	42
	II部・普通	75	64	73	59	39	75
	III部・普通	35	3	3	6	3	5

【通信制課程】

学校名	学科名	募集人員	入学者数				
			H30	H31	R2	R3	R4
大和中央	普通	150	70	77	93	92	95